

ボランティア活動

～手引き～

山陽小野田市立
山口東京理科大学

～ボランティア活動をされる皆さんへ～

この手引きはボランティア活動の取り組みについて記載しています

よく読んで理解したうえでボランティア活動に取り組んで下さい

～ボランティアを依頼される方へ～

本学のボランティア活動の取り組み方や考え方を記載しています

冊子を読みご理解頂いたうえで依頼をお願い致します

はじめに

ボランティアとは、「意思」や「志願」を意味するラテン語「**vol**o」からきていられると言われます。このことから分かるように、ボランティアは「**自発的**」に行うことです。無償労働と認識されがちですが、本来のボランティアの意味とは全く違い、ボランティアとは自発的に報酬を得ることなく色々な人々との交流や各地域へ貢献する活動のことです。

目的

ボランティア活動は個人の自発的な意思に基づく自主的な活動であり、活動者個人の自己実現への欲求や社会参加意欲が充足されるだけでなく、様々な構成員がともに支え合い、交流する地域社会づくりが進むなど、大きな意義を持った活動です。本学では、地域を中心とした行事等に積極的に参加し、地域貢献、地域振興を図ることを通して、経産省が掲げている**社会人基礎力**を養うことを目的としています。



ボランティアの種類

ボランティアと聞いてイメージされるのが「海の清掃」や「地域のゴミ拾い」などを連想されるのが一般的ですが、こうした活動以外にも多くのバリエーションがあります。本学では地域貢献、地域振興を図る上で積極的に取り組む活動を下記に示します。

教育教養活動

- ・ 子供達のサポート
- ・ 野外活動支援 など

社会福祉活動

- ・ 福祉施設でのサポート
- ・ レクエーション など

環境整備活動

- ・ 環境保全活動
- ・ 分別の啓発 など

地域社会活動

- ・ 地域活性の手伝い
- ・ 防犯、防災活動 など

国際交流活動

- ・ 多文化交流
- ・ 留学生支援 など

<ボランティア活動をされる皆さんへ>

ボランティア活動を行うにあたって

本学では、学生個人の自発的なボランティア活動を大切にしています。しかし、近年は「ボランティアをしてあげている」というような意識で活動をする学生も増えていきます。それはボランティア精神に反するもので、ボランティア活動を行う際にはボランティア本来の意味をよく考え自覚を持った行動を心掛けて下さい。また、ボランティア活動中は本学の代表であると同時に、活動先の一員であるという意思を常に持ち活動して下さい。

活動中の注意事項

ボランティア活動を行う際は下記の内容を厳守して下さい。活動先の方はお忙しい中、時間をさいてサポートしてくださっています。ルールを守り活動するよう心掛けて下さい。

活動前

- ・時間を守り、遅刻欠席をしないこと。やむを得ず遅刻・欠席する場合は必ず活動先の担当者に連絡をすること。
- ・予め活動先の担当者に服装や必要な物を確認して活動を行うこと。アクセサリなど活動に不必要な装飾品を身に着けないこと。

活動中

- ・指示を受けた作業が終わった場合は報告を行い、不明なことは自分で解決せず実習先の方に連絡して指示を受けること。報告と連絡をまめに行うこと。
- ・活動中は自分の行動・言動に責任を持つこと。

活動後

- ・終了後は必ず活動先の方に挨拶をすること。指示を受けた作業が終わったからと勝手な判断で帰宅をしないこと。

※ボランティア活動中に知り得た個人情報などは他の人に話をしたり、SNSに勝手に書き込みをしてはいけません。守秘義務を必ず守りましょう。

<ボランティアを依頼される方へ>

保険について

ボランティア活動を行うにあたり、「ケガをした」「ケガをさせた」「物を壊した」など活動中のもしものに備え「ボランティア保険」への加入をお勧めします。各地域の社会福祉協議会で手続きをすることができます。内容など質問がありましたら、各地域の社会福祉協議会にお問い合わせください。

お問い合わせ・連絡先

山陽小野田市立山口東京理科大学 教務課

〒：756-0884 山陽小野田市大学通 1-1-1

Tel：0836-88-3500

Fax：0836-88-3400

E-mail：kyoumu@admin.tusy.ac.jp